

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

富田林市立富田林小学校

調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であります。しかしながら、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者の皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

【国語】		【算数】		【理科】	
<p>全体的な状況</p> <ul style="list-style-type: none">・全体的に国や府の正答率を下回っているが、知識・技能の区分にある言葉の特徴や使い方に関する事項については平均に近いポイントに推移している。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none">・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報をみつけることができるかどうか判断する力に課題がある。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none">・漢字や言葉など既習事項を日常的に使う機会を設けていることから、知識・技能の定着が見られる。・自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができてきている。 <p>課題解決に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none">・漢字や言葉など既習事項を日常的に使う機会を増やし、知識・技能の定着を図る。・長い文章を要約する等書く活動の充実を図る。・朝学習やＩＣＴ機器を活用した反復練習を取り入れる。		<p>全体的な状況</p> <ul style="list-style-type: none">・「測定」領域の問題の正答率が低く、国や府の平均を下回っている。・記述式の問題形式や文章題に苦手意識がある。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none">・式や言葉を用いて記述することに課題がみられる。・目的に応じてグラフを選択し、必要な情報を読み取ることに課題が見られる。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none">・表やグラフなど複数の情報を読み取り、的確にまとめる学習を積み重ねていく。・昨年度同様、言葉の意味を式と結び付け、正確に理解できるように、語彙力の充実を図る。 <p>課題解決に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none">・具体的な数量を考える経験を積み重ねてきたことが、自ら問題に取り組む態度に繋がっている。（無解答率が極めて低い。）・コンパスを用いて作図をすることができている。		<p>全体的な状況</p> <ul style="list-style-type: none">・短答式の問題では、全国や府のポイントを上回っている。・4領域「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」ともに府に近いポイントに推移している。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none">・結果をもとに結論を導き、理由を表現するような記述に課題が見られる。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none">・実験や観察など、自ら経験し、正しい方法で行ったことは定着している。・予想し、実験し、結果を踏まえて考察する学習活動を今後も大切にしていこう。 <p>課題解決に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none">・実験結果から考えたことをまとめ、伝え合う場面を多く取り入れることにより、分析の目を養っていけるよう、授業改善に取り組む。	

【学習状況調査】

状況が良好な主な項目		本校	府	全国
人の役に立つ人間になりたい		93	95	96
友だち関係に満足していますか		91	91	92
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか		91	88	87

※数値は小数点以下四捨五入

全体的な状況

- ・自己肯定感の低さが顕著にでている。
- ・学習に対する関心・意欲・態度については、特に国語において良好である。

成 果

- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と感じている児童の割合が大きい。
- ・「国語や勉強を大切に思っている」児童の割合が大きい。

課題を残した主な項目		本校	府	全国
将来の夢や目標を持っていますか		74	84	83
自分には、よいところがありますか		67	87	87
地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思いますか		67	78	81

※数値は小数点以下四捨五入

課 題

- ・自分に自信が持てず、考えや思いを発表することがなかなかできない児童がいる。
- ・将来の夢や具体的な目標を持つことについての割合が全国や府より低い。

課題解決に向けた取組み

- ・ペアやグループでの話し合い活動やスピーチ活動を積極的に取り入れ、人前で話す経験を増やしていく。
- ・小さな成功体験を積み重ねることや、過程を認めること等を継続して行い、自己肯定感をあげる取組みを行う。

○保護者の皆さまへ(全体を通じて)

<ul style="list-style-type: none">・今回の調査において、本校では「人の役に立つ人間になりたい」と思う児童が多いという結果が出ており、規範意識や道徳心が育まれていると考えられます。・また、「国語」が好きな児童の割合が大きいことや、学力調査での無回答率が極めて低いという結果からは、学びに対する前向きな気持ちやねばり強く取り組む態度が育っていることがわかります。・このことは、学校の教育活動だけの成果ではありません。ご家庭でも励ましのお声かけや対話を大切にしてくださいなど、ていねいに関わっていただいていることが、子どもたちの健やかな育ちにつながっているものと考えています。
<ul style="list-style-type: none">・一方で、自己肯定感の低さがあるため、「比較や結果」ではなく「成長や存在そのもの」に光を当て、前向きな気持ちになるような継続した取り組みが必要となっています。
<ul style="list-style-type: none">・スマートフォンやタブレット等の使い方については、学校でも学年の成長段階に応じた指導を行ってまいります。ご家庭でもお子さまの状況に合わせて話し合ってください、無理のない具体的なルールづくりや確認のお声かけをお願いいたします。・朝の時間帯に行っているビジョントレーニングを継続し、「見る力」視覚機能を鍛えることで、集中力や注意力が向上する取り組みを進めています。・全国学力調査の問題は、長い文章を読み進めながら問題で問われていることを解釈し、表現することが問われます。学校では教科学習において、めあてを明確にし、自分で考え表現する活動や友達と交流し学習を深める活動を充実させています。
<ul style="list-style-type: none">・学校といたしましては、学力の向上には、何よりも子どもたちの学が意欲を高めることが大切であると考えております。学校では、ICT機器の活用も図りながら、子どもたちが学が喜びを実感できる「わかる・楽しい」授業づくりに努めてまいります。・ご家庭におかれましても、日々のお子さまの学校でのようすを語り合ってください、明日への意欲につながる温かい言葉かけを引き続きよろしくお願いいたします。